

令和3年度第3回 食を通じた地域のプロモーション・交流事業を 徳島県三好市、美馬市、東みよし町、つるぎ町で開催しました！

本年度第3回目（※本年度第1回及び第2回ツアーは新型コロナウイルス感染症の影響で中止。）となるツアーは、開催自治体として徳島県にし阿波地域（三好市、美馬市、東みよし町、つるぎ町）を選定し、香港で人気の日本在住インフルエンサー風信子さんを招いて、2021年10月25日（月）～28日（木）の日程で実施しました。

本来であれば、海外のABCクッキングスタジオの生徒をお招きしますが、新型コロナウイルス感染症の影響で海外からの招聘が困難であったため、今回のツアーでは初めて、海外で発信力を持つ国内のインフルエンサーをお招きしました。

徳島県にし阿波地域は、日本三大秘境とも呼ばれる祖谷溪谷、国の天然記念物に指定される吉野川、世界農業遺産でもある急傾斜を利用した農法等、魅力的な観光資源に富んだ地域です。

お招きしたインフルエンサーによる情報発信を通し、この地域の魅力、食の魅力を香港の消費者に伝えるべく、様々な観光コンテンツの訪問、食体験を行いました。インフルエンサーの制作した動画については公開させていただいておりますので、以下URLよりぜひご覧ください！

[【https://www.youtube.com/watch?v=2ji8wHFz2yw】](https://www.youtube.com/watch?v=2ji8wHFz2yw)

また、ツアーの詳細については、以下の報告をご覧ください。



(写真提供：STUDIO 男爵)

【1日目】

<奥祖谷二重かずら橋>

三好市の玄関口「大歩危駅」から細い山道を車で走ること90分、平家一族のために架けられたといわれる奥祖谷二重かずら橋は、シラクチカズラという植物のツルで作られており、渡橋はスリル感満載。インフルエンサーの風さんも、おそろおそろの橋を渡っていました。

シラクチカズラの橋は非常に珍しく、三好市にはこうした貴重な橋が併せて3本あるとのこと。うち2本は「女橋」「男橋」と呼ばれ、ここ「奥祖谷二重かずら橋」で楽しむことができます。この日は残念ながら雨でしたが、秘境の雰囲気漂う美しい景観、橋の下を流れる美しく澄んだ川の様子などが伺えました。



<桃源郷祖谷の山里>

奥祖谷地域にある落合集落は、江戸時代中期～後期にかけて建てられた古い民家が現在にも残っており、国選定重要伝統的建造物群保存地区に指定されるとともに、この地域は「日本三大秘境」の一つとも言われています。

何百年前から変わらない傾斜地での生活・農業など特徴的な文化が見られるこの集落では、集落内に200年～300年前の古民家の外装をそのままにリノベーションした宿泊施設「桃源郷祖谷の山里」が8棟点在しており、今回はこのうちの一棟「天一方」に宿泊しました。

ここでの宿泊は、茅葺屋根の宿一棟をまるごと貸出す仕組みで、建物自体は古の趣がありつつも、建物内は床暖房をはじめ最新設備を備えているというギャップが感じられます。

夕食では、そばや豆腐、芋、こんにやくなどこの地域ならではの食材を使用した郷土料理をお弁当としていただくことができました。

高所のため、早朝には雲海の景色を見られることがあります。



(写真提供 (下段): STUDIO 男爵)

【2日目】

＜落合集落展望台＞

昨夜宿泊した落合集落を遠目で見られる「落合集落展望台」を訪問しました。ここでは山の急斜面に切り開かれた集落の傾斜地を活かした畑や民家、つづら折りの山道など、落合集落の全景を楽しむことができます。

集落の中は高低差が 390mもあるとのこと、前日宿泊した天一方をはじめ、かやぶき屋根の古民家を点々と見つけることができました。

この日は偶然、「映える」スポットを発見。前日の雨で、落下防止柵の支柱に溜まった水に落合集落の風景が反射し、逆さ富士ならぬ「逆さ落合集落」が映り込んでいました（以下写真右）！



(写真提供 (左) : STUDIO 男爵)

＜祖谷自慢そばめんめ塾＞

急傾斜で米の生産ができなかったこの地域では、昔からそばが主食として食されてきたそう。この日の昼食では、山菜、鹿肉など、地元で獲れた食材を使った料理をそばと共に楽しむことができる「祖谷自慢そばめんめ塾」を訪問しました。

ここでは食事を楽しむだけでなく、併設の建物でそば打ち体験を行っており、海外のお客様さんからも人気とのこと。風さんも、そばの粉挽きから生地をこね、のぼし、切り、ゆでる一連のプロセスを体験させていただき、最後には地域の伝統料理とともに食事を楽しみました。



(写真提供 : STUDIO 男爵)



(写真提供 (左) : STUDIO 男爵)

<大歩危まんなか遊覧船>

昼食後は、本ツアーで一回目の吉野川アクティビティを訪問しました。

吉野川の上流、「大歩危（おおぼけ）」と呼ばれるこの地域は、吉野川の中でもゆるやかな溪流を楽しめる地域。この地域では2億年前に作られた地層が隆起し吉野川によって削られ、太古の地層が見られる全国的にも貴重な場所として国指定の天然記念物に指定されています。

今回はこうした吉野川の美しい渓谷の風景に加え、透明度の高い澄んだ水質を体感するため、「大歩危まんなか遊覧船」に乗船しました。

30分ほどの乗船ツアーですが、力強い川の流れや迫力ある岩壁、稀に見られる野生動物など、見所はたくさんありました。この日は、全速力で遊覧船に並走する元気な鴨に出会うことができました。



(写真提供 : STUDIO 男爵)

<中村農園>

遊覧船で吉野川の風景を楽しんだ後は、標高400メートルの急斜面に広がるゆず農園「中村農園」を訪問しました。この地域は寒暖の差が大きいため、酸っぱくて美味しいゆずができるそうです。

農園までは急な坂道を上る必要があります、傾斜地での農作業の大変さがよくわかります。

この農園では、有機栽培で天然由来の肥料を使うなど、安心して食べられるゆずの生産にこだわりを持ってゆずを育てています。また、ゆずだけでなく、生産したゆずを使ったゆずシロップやゆずジュレも、地域のショップやオンラインで購入することができます。にし阿

波地域のこうした急傾斜を利用した農法は世界農業遺産として認定されており、今回のツアーの重要なアピールポイントのひとつです。

風さんには、古くからの農法で栽培したゆずの収穫を体験してもらい、安全でおいしいゆず、ゆず商品を楽しんでいただきました。



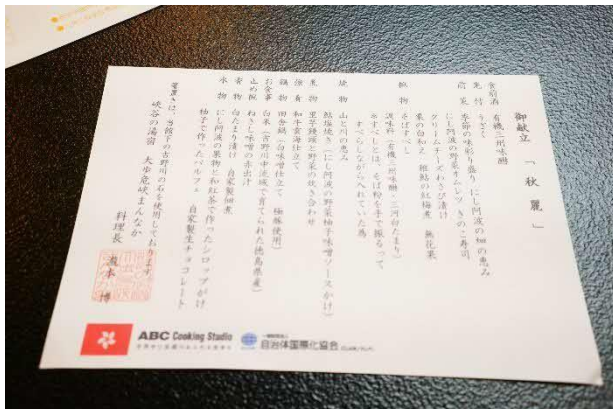
(写真提供：STUDIO 男爵)

<大歩危峡まんなか>

遊覧船の乗場まで徒歩3分、立地がよく三好観光の拠点にぴったりの「大歩危峡まんなか」に宿泊しました。

風さんにこだわりのお部屋を用意いただいたほか、エントランスや献立に名前を入れてくださるなど、温かいおもてなしをいただきました。

食事では、郷土料理の「そばすべし」や地元の野菜・果物をつかったお料理など、地域ならではの味を楽しみました。



(写真提供：STUDIO 男爵)

【3日目】

<SUGGOI SPORTS (SUP 体験) >

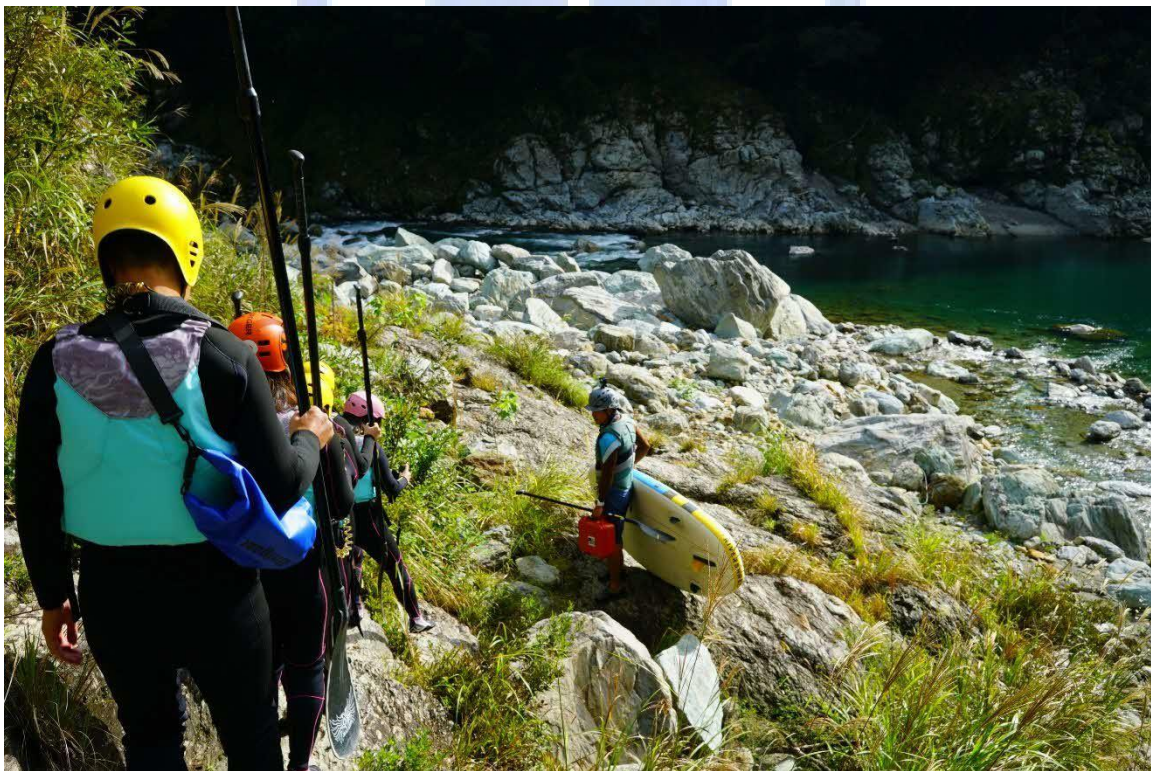
本ツアーでの吉野川アクティビティ2本目、地元事業者の SUGGOI SPORTS の協力を得て、吉野川の「小歩危」地域で SUP 体験を行いました。遊覧船のある「大歩危」地域とは対照的に、この地域は急流を楽しめるスポットで、過去にはラフティングの国際大会も開催されています。

大自然の中でのアクティビティであるにも関わらず、三好市の中心地からアクセスが良く 20～30 分で来ることができる立地です。

ちなみに、SUP 体験は夏だけでなく、冬も含め一年中楽しめるとのこと。想像するだけで凍えてしまいそうですが、雪景色の吉野川での SUP 体験は絶景だそうです！

今回は、SUP アクティビティの魅力、アクティビティを通じて吉野川魅力を伝えるべく、風さんに実際に SUP を体験いただきました。

初心者でも膝立ちから練習し、徐々に慣れながら、最後は立ちながら漕いですすめるほどに成長できます。



(写真提供 (下段) : STUDIO 男爵)

<Café &ジビエ>

この日の昼食は「Café &ジビエ」。2021年4月に道の駅にオープンしたばかりのカフェで、シカ肉、イノシシ肉などのジビエを使ったバーガー等が楽しめます。

この地域では昔からシカやイノシシによる獣被害が出ており、これまでこうした動物を駆除していましたが、ただ処分するだけでなくその肉を活用しようというコンセプトでこのカフェが始まったそうです。

テラス席では雄大な吉野川の渓谷を見おろしながら、食事を楽しめます。遊覧船体験、SUP体験とは異なり、上から見下ろす吉野川の渓谷風景もやはり絶景で心癒されました。

地元で捕れた猪と鹿を使った「イノシカチーズバーガーセット」をご用意いただいた風さんは、ボリュームたっぷりであるのに苦労していましたが、ジビエ肉を食べるのが初体験だったこともあり、とても喜んでいました。



(写真提供：STUDIO 男爵)

<齊藤桐材工業有限会社（桐下駄工場見学）>

昼食後は、車で60分、東みよし町へ移動しました。訪問したのは齊藤桐材工業有限会社。桐下駄の名産地である東みよし町の中で、親子三代、80年以上続く桐下駄屋で、桐下駄で日本一の生産量を誇ります。着物に合う従来の下駄だけではなく、若者に向けた色鮮やかな下駄や、洋服にマッチするスウェット生地地の鼻緒を取り入れるなど、新たなコンセプトの桐下駄づくりにも精力的に取り組んでおられます。

この日は、こちらの工場で桐下駄の生産風景を拝見しつつお話を伺った後、隣接する「みかも喫茶」へお邪魔しました。ここでは、工場生産された桐下駄を販売しており、色とりどりの桐下駄のほか、観賞用の「お守り豆下駄」をはじめ、下駄を活用した独創的な商品が並んでいます。伝統文化を守りながらも時代に合わせて進化してきた、桐下駄文化の素晴らしさを実感できる訪問となりました。



(写真提供：STUDIO 男爵)



(写真提供 (左) : STUDIO 男爵)



<古見茶屋>

桐下駄工場の後はつるぎ町へ移動し、ゲストハウス「古見茶屋」を訪問しました。ここでは、無添加調味料を使った食事の調理や、麻のアクセサリーづくりのワークショップなど、地域の人を巻き込んだ活動を行っています。味噌や醤油、ドレッシングなどの調味料も手作りしており、安全な食にこだわりを持って活動されておられます。

今回は、店主の小野寺さんご指導のもと、「たかきび」「まこも」「菊いも」など、都会では聞きなれない、にし阿波の傾斜地でとれた雑穀と野菜を使って、グラタンやハンバーグなどのビーガン料理の調理にチャレンジしました。風さんに実際に調理いただき、肉や魚など動物性の食品を一切使用していないにも関わらず、とても満足感のある料理が出来上がりました。

また、調理後は、東日本大震災をきっかけにつるぎ町へ移住し、自然とともに生きるライフスタイルにこだわりを持って生活されている小野寺さんのお話を聞きながら、皆で食事をいただきました。普段出会えないような異なった生活スタイル、価値観を持つ人と出会えることもこうした旅の醍醐味です。この日の交流は大変盛り上がり、遅くまで話が絶えませんでした。



(写真提供 : STUDIO 男爵)

【4日目】

<有限会社やまうち(藍染め体験)>

最終日の4日目は、美馬市でのツアーを行いました。

美馬市は古くから藍の生産が盛んで、藍の生産で豊かになった町です。昔は一般家庭でも藍を育てるなど、藍が生活の一部だったとのことで、今でも藍文化が残っています。

この日、まず訪問した有限会社やまうちは、植物の藍を育てて染料をつくり、藍染め製品づくりまで行っている会社です。化学染料を使用せず、自前で育てた藍の染料を使った藍染め生産にこだわっています。今回は、こうした美馬市の伝統と藍染め製品の魅力をPRするため、風さんに実際に藍染めを体験いただきました。

ただ藍染体験を行うだけでなく、染料になる前の植物の藍の畑を見学させていただいたり、こうした藍で染料を作る現場なども見せていただいたりと、藍の栽培から藍染商品づくりまで、一連の行程を実際に「目で見て」「体験して」実感することができたとともに、美馬市の伝統文化である藍産業への理解を深めることができ、とても良い体験となりました。

終了後、風さんからも「ここは徳島に来たら必ず行くべきコンテンツ」との声をいただき、今後、香港を対象にし阿波をPRするにあたり、大きな可能性を感じさせる訪問先でした。



(写真提供：STUDIO 男爵)

<うだつの町並み>

「うだつの町並み」と呼ばれる美馬市脇町は、江戸時代以降、山で育てた藍の葉から染料を生産し、この染料を舟により徳島県中心地へ卸すことで豊かになった町で、未だにこうした古い町並みが残っており、国の重要伝統的建造物群保存地区にも指定されています。

この町の家屋に見られる、火事の延焼を防ぐ「うだつ」と呼ばれる防火壁は豊かさの象徴で、この町が「うだつの町並み」と呼ばれる所以でもあります。新型コロナウイルス感染症の影響が出る前は、外国人も含め多くの観光客がこの町を訪れていたとのこと。

町の中には当時藍で富を得て豪商となった「吉田家住宅」があり、広くて重厚な邸宅の中を見学したり、藍染製品を購入することができます。

有限会社やまうちでの藍染体験に続き、美馬市の藍生産のストーリーを追いながら、町の歴史、藍生産の歴史についてより理解を深めることができました。



(写真提供 (右): STUDIO 男爵)

<Link point SAIRAI (調理体験)>

ツアー最後の訪問先は、うだつの町並みから徒歩数分にあるカフェ&ダイニングバー「Link point SAIRAI」です。にし阿波地域の傾斜地農法で生産した野菜や雑穀を使った食事を提供しているほか、地元食材を使った郷土料理の調理体験も行うことができます。今回は古見茶屋と同じく、にし阿波地域でとれた食材や料理のPRのため、風さんが郷土料理の「そばごめ雑炊」の調理体験を行いました。

色とりどりの野菜を使ったバラエティに富んだ食事をいただくことができました。野菜くずなどを廃棄せず、できる限り食材として活用することにこだわりを持っておられるということです (例えば、しそジュースの搾りかすを使ったしそふりかけなど)。

また、美馬市の伝統である藍を取り入れた「藍バーガー」や「藍のシフォンケーキ」なども考案し提供しておられ、ここでも美馬市の藍文化を感じることができました。



(写真提供: STUDIO 男爵)

【ツアー行程】

1日目

| 時間 | 場所 |
|-----------------|-----------|
| 12:00 | 阿波池田駅集合 |
| 12:50 ~13:20 | 大歩危駅 |
| 14:50 ~16:20 | 奥祖谷二重かずら橋 |
| 17:20~ | 桃源郷祖谷の山里 |

2日目

| | |
|-----------------|------------------------|
| 10:00 ~10:15 | 落合集落展望台 |
| 10:35 ~12:35 | 祖谷自慢そばめんめ塾(昼食及びそば打ち体験) |
| 13:45 ~14:45 | 大歩危峡まんなか遊覧船 |
| 15:15 ~16:45 | 中村農園 (ゆず収穫体験) |
| 17:15~ | ホテル大歩危峡まんなか |

3日目

| | |
|-----------------|-----------------------|
| 8:30 ~12:30 | SUGGOI SPORTS(SUP 体験) |
| 13:00 ~14:00 | Café & ジビエ(昼食) |
| 15:00 ~16:00 | 斉藤桐材工業有限公司 |
| 17:00 ~20:00 | 古見カフェ (夕食及び調理体験) |

4日目

| | |
|-----------------|--------------------------|
| 10:00 ~11:00 | 有限会社やまうち (藍染体験) |
| 11:15 ~11:45 | うだつの町並み |
| 11:55 ~13:55 | Link point SAIRAI (調理体験) |
| 14:15 | JR 穴吹駅着 (解散) |